

### 全国人形芝居サミット 10年ぶり淡路で開催

第13回全国人形芝居サミット & フェスティバルが昨年12月14日と15日に淡路人形座で開催されました。淡路島での開催は10年ぶり、全国から人形芝居を演じる22団体約300人が参加して後継者育成と運営についての意見交換や日頃磨いた人形芝居を披露して交流しました。

初日のサミットでは淡路人形協会の黒田紀子理事らが登壇して「未来へつなぐ人形芝居」後継者づくりとファンづくり」をテーマに事例紹介や意見交換が行われました。「地道な活動を続けて、時に



▲後継者づくり、ファンづくりに向けての意見交換が行われました



▲南淡中、三原中、淡路三原高校の生徒と淡路人形座の座員による三味線の連弾

は派手なパフォーマンスでPRしていくことも必要」といった意見や「子ども時代に人形芝居に触れてもらう機会を増やす工夫をして将来的な潜在ファンを増やそう」といった意見など活発な話し合いが行われました。その後、淡路人形座員と南淡中、三原中、淡路三原高校の郷土芸能部員による「三味線の連弾」の披露や淡路人形座による「奥州秀衡有鬘壱 鞍馬山の段」の上演が行われて会場を魅了しました。さらに2日目には全国から参加した中から14団体の人形芝居が披露されて会場を湧かし、交流の場となりました。

### 吉備国際大学からのお知らせ

#### ◆地(知)の拠点シンポジウム

12月14日(土) 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス大講義室と高梁キャンパス(岡山県高梁市)において、第1回吉備国際大学 地(知)の拠点シンポジウム「だれもが役割のある活いききした地域の創成」を開催致しました。今回は初の両キャンパスで行われるシンポジウムで、両キャンパスをTV会議システムでつなぎ行いました。

文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」で取組を行っている先生方のうち6名の先生に取組内容、今後の計画等を発表していただきました。参加者は両キャンパス合わせて約170名となりました。



▲志知キャンパスのシンポジウム風景



▲高梁キャンパスの様子

#### ◆ランチタイム講座

2月19日(水)で今年度のランチタイム講座は終わります。また来年度も講座を行う予定です。申込は地域連携センターとなります。詳細が決まり次第ご案内いたしますのでよろしく願います。

#### ◆食堂休業期間

今年度の授業が2月3日(月)で終了することに伴い、食堂の営業も2月3日(月)までとなります。この日以降は食堂は休業となりますのでご注意ください。来年度は4月上旬より営業する予定です。なお、食堂の名称が「Gardenia(ガーデンニア)」に決まりましたのでお知らせいたします。

☎ 42・4700  
☎ 42・4701  
☎ キャンパス事務局

### 灘黒岩水仙郷が今シーズンの営業開始

淡路島の冬の観光の1つとして知られる灘黒岩水仙郷。昨年12月27日、今シーズンの営業がスタートしました。

市の花にも選ばれている日本水仙。同施設は、論鶴羽山から続く約7ヘクタールの斜面に約500万本の水仙が群生しており、千葉県鋸南町、福井県越前町とあわせて日本三大水仙群生地として知られています。

開園日には、関係者約20人が出席して神事、テープカットが行われ開園を祝福。開園初日に訪れた人たちに水仙娘から水仙の切り花がプレゼント



▲開園初日、水仙娘から水仙の切り花を受け取る来園者

トされました。

また同施設で1月19日、淡路島観光協会が水仙郷スベシヤルデーを開催。今が旬の淡路島3年とらふぐの「てっちり」200食の振る舞いなどを行いました。また、登場したクイーン淡路や水仙娘から水仙の切り花と灘で採れたみかんが贈られました。

訪れた観光客は、水仙の優しく甘い香りが漂う中で温かいてつちりを笑顔で食べていました。



▲振る舞われた3年とらふぐのてつちりを食べる観光客

### まちづくり役に立ち宝くじ

市では市町村振興宝くじの収益金による社会貢献広報事業を活用して、昨年12月に西淡社会教育センターテニスコート(C面)に人工芝を敷設しました。

宝くじの収益金は住みよいまちづくりを活用されています。収益金は都道府県別の販売実績に応じて交付されるので、宝くじを購入する場合はぜひ県内の宝くじ売り場でお買い求めください。



▲宝くじ収益金で整備したテニスコート

### ふれあい市長室

#### 夢に向かって知恵を出し合い協働を

南あわじ市長 中田勝久

1月12日、成人式が373名の新成人を迎えて開催されました。今年も新成人の代表で組織される成人式実行委員会が企画、当日の進行など全てを運営されました。成人式を迎えられた皆さんの中には、既に社会人として実社会で活躍しておられる方ももちろん、学窓にあつて勉学に専念されている方もおられると思いますが、それぞれ将来への夢を抱き、希望に燃えられていることと思います。

今年のテーマは「一歩」でした。20歳を節目に今まで歩ん

で来た人生をふり返り、今後どう歩んでいくかを考えるというところで、支えていただいた家族や恩師、全ての人に感謝し、これからも前進していく決意を新たにした式典でした。

我が国では、民法第4条で「年齢20歳をもって、成年とする」と成年者について規定されています。インターネット検索サイトで「20歳になったら」と入力して検索してみると、出来ることとしては、飲酒や喫煙をはじめ、沢山の事柄が出てきます。一方、同時に選挙権が与えられたり、国民年金への加入義務が生じたりと成年者として責任を果たすことが求められます。

式典の中で2分の1成人式が行われ、参加者の小学校4年生の皆さんが、10年後に開封するタイムカプセルにそれぞれが20歳の自分に向けて手紙や思い出の品を詰められたと紹介されていました。本年1月、サッカーのイタリアセリエAのACミランに入団した本田選手(12歳の時の作文に「いつかセリエAで背番号10をつけてプレーしたい」と書かれており、ACミランに入団を決めた理由に「(私の中の)もう1人の自分に問いかけ、決めた」と答えられたと報道されていました。夢を追いかけ、実現に向けて努力を積み重ねていくことの大切さを改めて感じさせられました。そして、夢は実現することを自ら証明されました。参加者の皆さんもタイムカプセルに詰めた夢に向かっておおいに前進していただきたいと思えます。市としても教育環境の充実等に努め、応援していきます。

私からは、新成人の方に結びの言葉として、目標を定め、着実に前進されることを願います。「夢出せ」「知恵出せ」「元気出せ」という言葉をお贈りさせていただきます。熱い志をもつて、一歩ずつ着実に人生を歩まれることを願っております。

今後も、南あわじ市の夢に向かって、市民の皆さんとともに前進・進化してまいります。ご理解、ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。